

高校女子柔道選手が求める指導について

中原 花歩 (競技スポーツ学科 コーチングコース)

指導教員 吉川 文人

キーワード：高校女子柔道選手，指導者，共感能力

1. 緒言

柔道人口は男子の方が女子よりも圧倒的に多い。また、一般的に女性が社会に進出し、活躍の場が広がったものの、未だに結婚、出産、育児に対する女性への負担が大きいため、女子柔道選手は競技後も何らかの形で柔道を続ける、指導者になるという考えを持つ者が少ない。そのため、男性指導者が女子柔道選手を指導することが非常に多いのが現状である。

女子柔道選手の特徴や指導方法について、指導者の経験から報告されているが、ほとんど研究が進んでいない。特に高校女子柔道選手を対象とした研究は少ない。そこで本研究は、高校女子柔道選手が求める指導を明らかにすることを目的とした。

2. 研究方法

高校女子柔道選手 100 名を対象にアンケートを行った。被験者には、最初に学年、段位、柔道経験年数、指導されたことのある指導者の性別、出場大会経験について回答させた。次に、現在の指導者について、一般的な指導者に求めることについて、男女どちらの指導者を希望するかについて、三段階に分けて質問を行った (計 54 問)。

3. 結果と考察

「現在の指導者は自分のことを理解していますか？」という質問について、「はい」は 87 名 (87%)、「いいえ」は 13 名 (13%) であった。「一般的に指導者に自分のことを理解して欲しいですか？」という質問について、「はい」は 95 名 (95%)、「いいえ」は 5 名 (5%) であ

った。「どちらの指導者が自分のことを理解してくれると思いますか？」という質問について、「男性」は 6 名 (6%)、「女性」は 50 名 (50%)、「どちらでもない」は 44 名 (44%) であった。

このように、全般的に女子柔道選手と指導者は良好な関係や指導状況にあると考えられる。また、女子柔道選手にも依存心、集団維持欲求、心理的なコンディショニング作りの難しさ、人間関係や信頼関係を大切にすることなど女性特有の心理が見られたことから、指導者にはコミュニケーション能力や共感能力が必要であると考えられる。さらに、女子柔道選手は男性指導者より女性指導者の方が気持ちを理解してくれると思っていることから、女性指導者による女子柔道選手の指導が適していると考えられる。

4. 結論

女子柔道選手の指導においては、女性の価値観をよく理解することが絶対不可欠である。しかし、個人によって女性的な指導を好まない選手も見られることから、指導者は選手とよく指導方法を相談することが重要である。また、女性指導者の方が女子柔道選手の指導に適していることから、今後さらなる女性指導者の養成が必要である。

引用・参考文献

アランピース・バーバラピース (2002) 話を聞かない男、地図が読めない女—男脳・女脳が「謎」を解く—。藤井留美訳。株式会社 主婦の友社：東京。